

刊行にあたって

日常臨床のなかで、歯科治療とその選択について患者の理解を得るために、どのように説明すればよいのか苦心することが多いと思われる。そうしたニーズに応えるかたちで、デンタルダイヤモンド社より『歯科医師のための治療説明ハンドブック』（1996年出版）および、『続 歯科医師のための治療説明ハンドブック』（1997年出版）が発刊され、20年以上が経過した。その間、時代の変遷とともに情報量が増え、患者と歯科医師との関係にも変化が生じてきたように思える。換言するならば、「患者の納得を引き出す説明」から、「患者が安心し、信頼を生み出す説明」が求められるようになったのではないだろうか。どのような歯科治療であろうとも、患者の協力なくして長期にわたる予後は望めないからである。

そこでこのたび、新たに保存・補綴分野に焦点をあてた、患者の安心・信頼を生み出す治療説明集を上梓することとなった。

患者説明の難しさは、「臨床のなかで答えは1つではない」ということである。なぜなら、患者の背景や感性が十人十色であるように、歯科医師一人ひとりも経験や考え方が異なるからである。患者のキャラクターを見極め、歯科医師自身のキャラクターも考慮したうえで、はじめて円滑な意思の疎通を図ることができ、安心や信頼が生まれるのではないだろうか。そのことを念頭においたうえで、本書に目を通していただくことを筆者一同願っている。そして、本増刊号が明日からの臨床の一助になれば幸いである。

月刊デンタルダイヤモンド創刊から43年を迎え、また、風薫るなか新しい元号「令和」を迎える節目に、本増刊号を刊行できたことに喜びを感じて。

2019年6月
編集委員一同